

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	春日井市家庭教育支援チーム (呼称:NPO法人あいちかすがいっこ) URL: https://kasugaikosodate.org/
②活動拠点	春日井市瑞穂通6-17-1 日輪キャピタルカスタマーセンター3階
③活動範囲	春日井市内全域
④組織体制	7人(スタッフうち1人子育てネットワーカー) 35人(こんにちは赤ちゃん訪問員) 35人(ママの文化祭®実行委員)
⑤活動開始年度	2014年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) NPO法人あいちかすがいっこ 代表 松元 永己 (TEL)0568-84-2633 (E-mail)kasugai_kosodate@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

① 子育て支援情報の循環整理事業

あいちかすがいっこ広場の運営

春日井市の子育て情報発信サイト「ハッピーママズ」の管理運営を受託

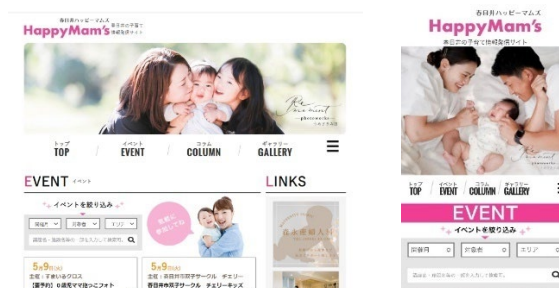
◆子育て情報発信サイト「HappyMam's」

春日井市で日々、子育てに奮闘するママに向けて市内のお出かけ情報を発信し、ママ達の幸せな生活(=女性らしい活躍と自分らしさの実現)を応援するために春日井市が 2017 年度春に開設し、その管理運営を受託しています。

今までの行政は行政、民間は民間ではなく、「子育て情報」という枠で様々なお出かけ情報を発信することを目的としています。

(委任元 春日井市)

③活動内容



◆産前産後のママの教室

「地域における切れ目のない妊娠・出産の強化」として、妊娠・出産に関する正しい知識の普及から産後の周辺環境や情報面のサポート、女性に対する継続的なケアの充実、正しい知識の普及を目的に実施しています。また、「ママの教室」はママたちと周りの支援をつなぐ役割も担っており、一人でも多くのママが、少しでもスムーズな産後・育児のスタートを切り、ママとして大人として自立の一步になってもらうことを目的としています。



産前産後サポート事業

産前産後サポート事業は、産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産前サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産後サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

0565-84-0820
knockknock@knockknock.jp

産前産後サポート事業

産前産後サポート事業は、産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産前サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産後サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

0565-84-0820
knockknock@knockknock.jp

産前産後サポート事業

産前産後サポート事業は、産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産前サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

産後サポート

- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。
- 産前産後期に悩むお母さんや赤ちゃんの健康を応援し、安心して子育てができるようサポートします。

0565-84-0820
knockknock@knockknock.jp

◆ノックノックホームサポート事業(支援者側)

2016年10月より開始したノックノックホームサポート事業、子供(特に乳児)に対する虐待の防止や、母親の孤独育児からの救済を目的としています。現在は自主事業として行っています。

◆PTA出張講座

子育てはもちろん、防災・SDGs・性教育・家庭教育など様々なテーマに沿った講師の派遣と研修を行い、法人の活動の周知とPTA等の社会活動に関わることのメリットなどを発信し、地域に興味を持つ保護者が増えるための啓発を行うことを目的としています。



PTA出張講座は、家庭教育について学びを深める絶好の機会だと当法人は考えています。

必然的に役員の保護者が参加するからこそ、このような学びの場に繋がることが家庭教育の浸透につながっています。

【事業実績】

- 令和3年度 市内中学校3校・市内小学校1校・中学校ブロック1区
- 令和4年度 市内中学校2校・市内小学校2校・中学校ブロック1区
- 令和5年度 市内小学校3校・市内中学校3校・中学校ブロック1区
- 令和6年度 市内小学校3校・市内中学校5校
- 令和7年度 市内幼稚園4園・市内小学校6校・市内中学校1校・中学校ブロック1区

④活動の成果
(活動実績がある
場合)

◆防災

2016 年度あいちモリコロ基金助成金事業として始まりました。地域に「知り合い」のネットワークを広げ、「助け合える」仕組みをそれぞれが作ることを目的とします。自然災害が起きたとき、同じ市町村のつながりだけではなく、離れた市町村とのつながりがあれば、「守れる命」があると私たちは考えました。子育て世代がつながりを広げ、「助け合えるネットワーク」を構築することを目的としています。

助産師・救命救急士・防災士などの女性のネットワークを構築することを市長に提言しました。



③ 地域交流・活性化に伴うイベント事業

ママの文化祭®を開催

春日井市の主催するイベントの運営協力

◆見つかるつながるママのネットワーク ママの文化祭®

地域を巻き込みみんなで子育て。そんな街を目指し、『ママ』×『企業』×『行政』×『地域』が各々の得意分野を活かし協働するイベントです。また、ママの文化祭®という「ママならだれでも足を運びやすい名前」にすることで、乳幼児連れのママが気軽に来場できるイベントにすることを目的としています。



毎年有志のママが「実行委員」として集まります。また前日当日は「サポーター」という形でイベント運営に携わっていただいています。コロナ禍も開催し続けたことで、“切れ目ない支援”が実現されている街春日井と関わる全ての方が誇りに思えるイベントに成長しました。

◆地産地消応援プロジェクト

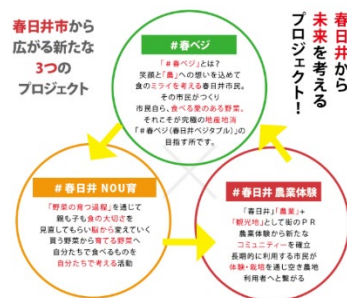
地元ブランド「ネピア」の認知度の向上を図るため、各地の地域イベントに参加し、「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトのPR活動を通じて、地産地消のブランドとして地域で盛り上げています。また、市外の方に「春日井市の取組」としてPRも行うことを目的とします。



◆春日井NOU育プロジェクト

2019年8月に春日井市内の農園が主催されている10年後の大人達のために開催しているプログラムに参加したことがきっかけで生まれたこのプロジェクトで、2020年9月に正式に始まりました。このプロジェクトは「野菜の育つ過程」を通じて、親も子も「過程」の大切さに気付くことを目的とした事業です。そして農育のNOUは「農業」への新規就農者獲得を目指す「農」と、おうちのご飯で利用する食材をママ自身が選べる「脳」を持つことの大切さを伝える2つのNOUの意味を持ちます。

また、地域ブランドの発信を担う取組も合わせて行うことを目的としています。



④ 子育て世代の交流、居場所を作る事業

気軽にママが立ち寄れる駅舎「ママステーション」の運営

春日井市の親子広場「なないろ広場」を受託

◆ママステーション



平時6つの駅舎に加え、毎月第1土曜日にナゴヤハウジングセンター春日井にて「出張ママステーション」を開催。

年間 300 組を超える「ママと赤ちゃん」が参加してくださっています。

(利用者の声)

参加者の声

- ・一人で抱えて相談できなかったのが聞いてもらえて心が軽くなりました。
- ・私にとっても子供にとってもよい気分転換になりました。
- ・とても楽しかった。くみこばあばのお話が楽しくてずっと聞いていられた。
- ・娘がずっとにこにこ楽しそうでした。マッサージやお尻歩きなどお家でも実践してみます。
- ・気になっていたこともアドバイスをいただけて心が軽くなりました。
- ・お母さんたちの悩みも聞けてとても参考になりました。
- ・短い時間だったのに、とても充実した時間でした。これからメイクするのが楽しみです。
- ・参加していた方々とゆっくりお話しできて楽しかったです。リラックスできる方法も教えていただいたので実践しようと思います。
- ・自分のことはいつも適当になっている中、見つめなおすよい機会になりました。

⑤女性の社会復帰に伴う事業

ママが社会とつながるきっかけや体験体感をすることで、社会とのつながりを再確認する

◆こんにちは赤ちゃん訪問事業 訪問員(支援側)

この事業は、子供(特に乳児)に対する虐待の防止や、母親の孤独育児からの救済を目的として始まった事業ですが、子育て経験をするすべての

女性が「誰かの役に立ちたい・私の子育ての経験が誰かの力になる」ということを体感し、自らが社会とつながりを持ち社会とつながるきっかけにもなりうる事業を通じ、社会復帰するきっかけにも現在はなっています。
(春日井市より委託)



⑥ 女性のライフスタイルにかかわる事業
モアハピプロジェクト

ママだけではなく、パパに向けても発信

未来にいいこと応援プロジェクト もっと家族が幸せになれるBOOK
(女性編・男性編・保存版)で家族サイズを見つける。



⑦ 有料職業紹介事業

ママの「働く」を応援

2021年6月より開始した事業で、当法人の事業対象として最も多い0歳児のママが数年後子供の入園入学のタイミングで「社会復帰」を考えた際に“相談できる機関”としてサポートすることを目的としています。



<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p> <input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (春日井市委託料・自主事業収益) </p>